## 本書の構成と使い方

本書は、現場から生まれた先生と生徒のためのテキストです。授業での使い やすさを求め、良質な問題を選び、知識が定着するよう構成を工夫しています。 反復練習ができるよう、例題、演習問題で構成されています。今までの英作 文テキストにはない圧倒的な量です。「習うより慣れる」を実践し、英語を得意 科目にしてください。

#### 単元のまとめ

各単元に文法事項・表現のまとめがあります。英作文でポイントとなる文法・表現, 入試頻出の表現に重点を置いています。

#### 例題

まとめで学習した文法・表現が入っている問題になっています。その他の入試頻出表現をできるかぎり盛り込むよう工夫しました。

#### 解答・解説

模範解答と解説で構成されています。模範解答はできるだけ簡単な表現を使い、簡潔な文にすることを心がけました。また、それぞれの文のポイントとなる点には詳しい解説を加えています。従来のテキストには簡易的な解説しかありませんでしたが、より細かな解説を加えることにより正しい表現を身に付けることを目的としています。

#### Tips

解説で扱い切れなかった英作文のポイントを中心にまとめています。その他,会話表現,間違えやすい表現,日本語と英語の違いなど英作文に役立つ知識を盛り込みました。

## 使用イメージ



#### ポイントの整理

解説を使って、英作文の基礎知識を深めます。英作文で必須となる文法、 表現を身につけます。中学の英文法の内容で構成されていますが、英作文 を書く視点でまとめてあります。



# **万川** 実践への準備

例題を使って、解説の知識を深めます。書き込みスペースをたくさんとっていますので、解答・解説に書かれている内容、または板書の内容をしっかり書き込んでください。自分だけの英作文必勝ノートを仕上げましょう。



# 演

#### 入試レベルの問題で実践

高校  $1 \sim 2$  年生レベルで解ける,短文の英訳と文中での英訳の構成になっています。英語では簡単な表現ですが,日本語の言い換えが必要な問題で構成しています。

例題同様、書き込みスペースをたくさんとっています。解答・解説や板書 の内容を書き込んで知識の整理をしましょう。

# もくじ

●Lesson	1	5又空の表現(1) ・・・・・・・ 4
●Lesson	2	5文型の表現(2) ・・・・・・・ 10
●Lesson	3	使役・知覚動詞 ・・・・・・・・ 16
●Lesson	4	時制に気を付ける表現 ・・・・・・・ 22
●Lesson	5	助動詞を使った表現 ・・・・・・・ 28
●Lesson	6	態 • • • • • • • • • • • 34
●Lesson	7	比較(1) • • • • • • • • 40
●Lesson	8	比較(2) ••••• 46
●Lesson	9	不定詞・動名詞 ・・・・・・・・ 52
●Lesson	10	分詞/関係代名詞 ・・・・・・・ 58
●Lesson	11	関係副詞 ••••••64
●Lesson	12	仮定法 ・・・・・・・・・・ 70
●Lesson	13	副詞節(1) ••••• 76
●Lesson	14	副詞節(2) ••••• 82
●Lesson	15	否定表現 ・・・・・・・・・ 88
●Lesson	16	慣用表現 ・・・・・・・・・・ 94

# Lesson ①

# ---- 5 文型の表現(1)

#### **1** 「―は~を…する」

(a) おととい日本を出たんだ。

I **left** Japan the day before yesterday.

(b) 私たちは2年前に中学を卒業した。

We graduated from junior high school two years ago.

#### (a) 主語の決定

英語には必ず主語と動詞があり、おおまかに言うと「~は…する」という形になっている。一方で、日本語では主語が省略されることが多いので、その場合は必ず主語を補って英文に直すようにしなければならない。

- (b) 「~を…する」: 〈他動詞+目的語〉, 〈自動詞+前置詞~〉
  - ① 他動詞と間違いやすい自動詞 ※目的語を置く場合は前置詞が必要。
    - $\square$  「A に B のことを謝る」:  $\langle$ apologize to A for B $\rangle$
    - □「~を卒業する」: ⟨graduate from ~⟩
    - □「~に賛成する」: ⟨agree with ~⟩ / 「~に反対する」: ⟨disagree with ~⟩
    - □「~に向けて出発する」: 〈leave for ~〉
    - ▶ leave は〈leave A for B〉で「B に向けて A を出発する」という意味もある。
  - ② 自動詞と間違いやすい他動詞 ※前置詞は不要。

□「~を訪れる」: visit □「~に答える」: answ
--------------------------------

□「~に参加する」: join □「~に入る」: enter

□「~について話し合う」: discuss □「~についていく」: follow

□「~と結婚する」: marry □ 「~に到着する」: reach

## tips

#### 「人々」を表す代名詞

日本語では主語を省略することができるが、英語では〈主語+動詞〉が強く意識されるので、見た目だけでも主語が必要になる。そこで、漠然と「人々」を表すときに次のような代名詞が使われることがよくある。

- ●we 「われわれ」という意味を表し、何かの代表として述べるときによく使われる。
- ●you 漠然と人を表し、一般論を述べるときに最もよく使われる。
- ●they 「話し手」も「聞き手」も含まれない場合に使われることが多い。

【例題①】 次の日本語を英語に直しなさい。ただし,( ) があるものは,その指示				
に従うこと。				
(1) 今朝寝坊したので、学校へ走って行った。(run を使って)				
(2) 市の郊外に住んでいる人が多い。(many people を主語にして)				
(3) トムは来年、彼女と結婚する予定だ。				
(4) 太陽は東から昇る。				
(5) 来年,消費税が上がる。(raise を使って)				

### 2 「~のように見える」

(a) 君のアイデアよさそうだね。

Your idea sounds great.

(b) 空がだんだん暗くなってきた。

The sky grew darker and darker.

(a) 「~のように見える」: 〈look+形容詞〉、〈look like+名詞〉

動詞の後に補語を続けて、〈主語=補語〉の関係を作る動詞がある。補語は必ず、 名詞・代名詞・形容詞のいずれかになる。

- □「~のようだ、~のように思える」: seem
- ▶ look は通常, 見た目について言う場合に用いる。seem は「(実際に見たり聞いたりして判断してみると)~のように思われる」という意味で使われる。
- □「~の味がする」: taste 《例》Dinner <u>tasted</u> delicious. (夕食はおいしかった。)
- $\Box$ 「~に聞こえる,~らしい」: sound
- □ 「~のにおいがする, ~な [の] 香りがする」: smell
- ▶ 他に、be 動詞、keep (ずっと~のままである)、become (~になる)、feel (~の 感じがする) などがある。
- (b) 「~になる」: become/get ※get のほうが口語的。

「~になる」は様々な表現があるが、それぞれニュアンスが微妙に異なるので注意 して使わなければならない。

- □「(徐々に) ~になる」: grow 《例》 grow old (年をとる)
- □「(変化して)~になる」: turn 《例》Ice <u>turns water</u>. (氷は水になる。)
- □「(急に)~になる」: fall 《例》She fell asleep. (彼女は眠りについた。)

# tips

#### 「~になる」

日本語には敬語表現があるため、目上の人の行為について「お~になる」と言うことがある。しかし、英語では丁寧な表現はあるものの、日本語のように厳格な敬語表現が存在しないので、英作文をするときには敬語表現を意識しなくてもよい。

《例》 今日の午後, お客様がお見えになる。

I have someone coming this afternoon. ※確定的な未来は現在形で表す。

I'm expecting visitors this afternoon.

※expect は「(人)が来るのを待つ」という意味。

【例題②】 次の日本語を英語に直しなさい。ただし、( ) があるものは、その指示				
に従うこと。				
(1) トムは歳の割には若く見えるよね。(look を使って)				
(2) 彼は日に日に背が高くなった。(grow を使って)				
(3) 秋に紅葉する。(turn を使って)				
(4) 彼はベッドに横になって、すぐに寝た。(fall を使って)				
(5) 暗くなってきているね。(get を使って)				

# ■演習問題■

<b>1</b> (1)	次の日本語を英語に直しなさい。 太陽は西に沈む。
(2)	彼が作ったケーキはとてもおいしかった。
(3)	あなたはいつ大学を卒業したのですか。
(4)	私はソファに横になると、すぐ眠りに落ちた。
(5)	アメリカに着いたら電話をください。
(6)	ジャックは昨日アメリカに向けて出発した。
(7)	あなたの考えはよさそうに聞こえる。
(8)	私はあなたに賛成できない。
(9)	このジュースはすっぱいにおいがする。
(10)	君はその失敗について彼女に謝るべきだ。

2  次の文章を読んで,下線部(1)~(3)の日本語を英語に直しなさい。			
(1)世界には80種類以上のクジラがいます。They are the largest sea animals. Japanese			
people have used whales in many ways for thousands of years. They began catching them for			
food in the Jomon Period. For a long time whale meat was not eaten by many people, but in the			
early 19th century in the Edo Period, ②それは日本人の間で人気になりました。③彼らはそ			
<u>のころ、クジラはすばらしい魚だと考えていました。</u>			
【ヒント】 (1)「~がいる」: 〈There is [are] ~〉 (2)「~の間で」: 〈among ~〉 (3)「考えていました」:			

過去形で表す。

## Lesson 1〈解答・解説〉

#### 【例題①】

- (1) **1** I ran to school because I overslept this morning.
  - **2** I overslept this morning, so I ran to school.
- (2) **1** Many people live in the suburbs of the city.
  - **2** Many people live outside the city.
- (3) 1 Tom is going to [will] marry her next year.
  - 2 Tom is going to [will] get married to her next year.
- (4) **1** The sun rises in the east.
  - **2** The sun goes up in the east.
- (5) **1** Consumption tax is going to [will] be raised next year.
  - 2 They are going to [will] raise consumption tax next year.

#### 【解説】

- (1) 理由を表す接続詞は because, since を使う。as も理由を表すことができるが、やや堅い表現になるので避けたほうがよい。 ②のように so を使って、「寝坊した。だから…」と書き換えることも可。「寝坊する」は oversleep で表す。活用は〈oversleep overslept overslept〉になる。「~~走って行く」は〈run to~〉で表す。「学校へ走って行く」は run to school で表す。「学校」の冠詞はなくてよい。
- (2) 「~している人が多い [少ない]」という表現は〈Many [Few] people ~〉で表す。「住んでいる」は現在形で表す。live は状態を表す動詞なので、ふつう進行形にはしない。「~の郊外で」は〈in the suburbs of ~〉で表す。または、「~の外(側)で」と考えて〈outside ~〉とする。
- (3) 「…するつもりだ」は will か be going to で表す。will は単純な未来を表しており、単に未来を表す記号である。一方で、be going to を使えば、「(以前から) …するつもりである」というニュアンスになる。「~と結婚する」は〈marry ~〉で表す。marry は他動詞なので、marry to ~ や marry with ~などとはしないように。または、〈get married to ~〉としてもよい。
- (4) 「太陽」は the sun で表す。天体名には必ず定冠詞の the を付けること。「昇る」は rise か go up で表す。また、「沈む」は set か go down で表す。「東から」は in the east とする。日本語では「~から」となっているが、英語では前置詞は in を使うので注意すること。また、「西へ沈む」も in the west になる。これを「方角の in」と言う。
- (5) 日本語では「消費税が上がる」となっているが、「消費税」は誰かによって「引き上げられる」ものなので、「消費税は引き上げられる」と言い換えたほうがよい。または、「誰か」という一般的な主語をおいて、 ②のように書いてもよい。「消費税」は consumption tax で表す。

#### 【例題②】

- (1) **1** Tom looks young for his age.
  - **2** Tom looks younger than he really is.
- (2) **1** He grew taller day by day.
  - **2** He grew taller and taller every day.
- (3) Leaves turn red [yellow] in autumn [fall].
- (4) **1** He lay on the [his] bed and fell asleep soon.
  - **2** He fell asleep as soon as he lay on the [his] bed.
- (5) It is getting dark.

#### 【解説】

- (1) 「若く見える」は look young で表す。「歳の割に」は for his age で表す。ここでの for は「~の割に」という意味を表している。「歳の割に」が思いつかなければ、「実際の歳よりも若く見える」のように比較級を使って表してもよい。その際、「実際の歳 ⇒ 実際の彼」としなければいけない点に注意すること。「実際の彼」は、he really is で表す。really の位置に注意すること。
- (2) 〈grow+形容詞〉は「(徐々に) ~になる」という意味を表す。「背が高くなる」は「ますます背が高くなる」と考えて、taller and taller で表してもよい。「日に日に」は day by day で表す。または、「毎日」と言い換えて、every day でもよい。ただし、everyday とすると、「毎日の」という形容詞になるので書き方に注意すること。
- (3) 「紅葉する」は「葉が赤 [黄色] に変わる」と言い換えることができる。「葉」は一般的なものなので複数形で leaves と表せばよい。「秋に」は in autumn または in fall で表す。「~(季節)に」という場合、前置詞は in を使う。通常、季節の前には冠詞は付けない。
- (4) 「横になる」は lie で表す。活用は、lie lay lain となる。「~を横にする」という他動詞の lay と間違えないように。「寝る」はここでは「眠りにつく」という意味なので fall asleep で表 す。fall の活用は〈fall fell fallen〉となる。「すぐに」は soon でよい。または、in no time で表すこともできる。❷のように、「ベッドに横になるとすぐに~」としてもよい。「…するとすぐに」は〈as soon as S'+V'…〉で表す。
- (5) 「~になる」は get を使って表す。 It's getting darker and darker.として「ますます暗くなってきている」としても間違いではない。

#### ■演習問題■

#### 1

- (1) The sun sets in the west.
- 1 The cake (which / that) he made was delicious [very good].
  - **2** The cake made by him was delicious [very good].
- (3) When did you graduate from college [university]?
- (4) **1** I fell asleep as soon as I lay (down) on the sofa.
  - 2 I lay (down) on the sofa and soon I fell asleep.
- (5) When you arrive in [reach / get to] America, please call me.
  - **2** When you arrive in [reach / get to] America, please give me a ring [call].
- (6) Jack left for America yesterday.
- (7) Your idea sounds great.
- (8) **1** I can't agree with you.
  - **2** I disagree with you.
- (9) This juice smells sour.
- (10) You should apologize to her for the mistake.

#### 【解説】

- (1) 「沈む」は set で表す。また,「西に」は in the west とする。方角を表すときには in を使って表すので注意すること。 to the west は不可。
- (2) 「彼が作ったケーキ」は関係代名詞か分詞を使って表す。
- (3) 「~を卒業する」は〈graduate from ~〉で表す。「大学」は college, university のどちらかを 使う。どちらを使ってもよい。

- (4) 「~するとすぐに」は〈as soon as ~〉、〈the moment ~〉などを使って表すことができる。または、②のように soon(すぐに)を使って表してもよい。「横になった」は lie の過去形 lay を使う。lie (横になる) と lay (~を横にする) の活用に気を付けること。
- (5) 「 $\sim$ に着く」は〈arrive in  $\sim$ 〉、〈get to  $\sim$ 〉、reach のいずれかで表すことができる。ただし、reach は他動詞なので前置詞を置いて、reach to  $\sim$ などとしないように。
- (6) 「~に向けて出発する」は〈leave for ~〉で表す。
- (7) 「~に聞こえる」は sound を使って表す。
- (8) 「~に賛成する」は〈agree with ~〉で表す。または、**②**のように「~に反対している」として〈disagree with ~〉を使ってもよい。
- (9) 「~のにおいがする」は smell を使って表す。「すっぱい」は sour でよい。
- (10) 「~について A に謝る」は〈apologize to A for ~〉で表す。apologize は自動詞なので、前置 詞の to が必要。

#### 2

- (1) There are more than [over] 80 kinds of whales in the world.
- (2) that [it] became popular among Japanese.
- (3) They thought (that) whales were great fish in those days.

#### 【解説】

- (1) 「~以上」は解答のように more than で表してもよいし over を使ってもよい。
- (2) become (~になる) の過去形は became である。「~の間で」は〈among ~〉を使って表す。
- (3) 「そのころ」は「当時」と考えて in those days を用いる。 at that time も当時という意味を表すが, in those days が一定の期間を指すのに対して at that time は過去の一時点を指すものなのでここでは in those days の方がよい。

#### 【全訳】

(1)世界には80種類以上のクジラがいます。そして、彼らは最も大きな海の動物です。何千年もの間、日本人はたくさんのことにクジラを使っていました。縄文時代には、彼らは食糧のためにくじらを捕まえ始めました。長い間、クジラの肉は人々に食べられていませんでしたが、江戸時代の19世紀初めには、②それは日本人の間で人気になりました。③彼らはそのころ、クジラはすばらしい魚だと考えていました。

#### 【単語·語句】

thousands of+可算名詞「何千もの~」period (名)「時代」

# Lesson 2〈解答・解説〉

#### 【例題①】

- (1) (Please) Teach [Show] me how to ride a bike [bicycle].
  - **2** Teach [Show] me how to ride a bike [bicycle], please.
  - **3** Will you teach [show] me how to ride a bike [bicycle]?
- (2) The principal (of our school) showed us new school regulations.
  - 2 The principal (of our school) showed a new school regulation to us.
- (3) I'll [am going to] cook him dinner when he comes [gets] home.
  - **2** I'll cook him dinner when he comes back home.
- (4) (Please) Pass me the salt on the table.